

H26.10.24 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

○日 時：平成26年10月24日（金） 15時00分～17時20分

○議事概要：

表 H26.10.24 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.猛禽類検討会の検討経緯について	・猛禽類検討会の経緯、前回検討会での指摘と対応について報告した。	・幼鳥の行動範囲は、 2.平成26年繁殖シーズンの調査結果で報告した。	・特になし	
2.平成26年繁殖シーズンの調査結果について	・クマタカ、およびその他の猛禽類の調査結果を報告した。	・クマタカ3ペアすべてにおいて繁殖が確認された。 ・3ペアについてコアエリアや繁殖テリトリーの把握を行い、いずれも大きな変化はないと考えられる。 ・サンバの2ペアが繁殖していることを確認した。 ・前回委員会で意見のあった過去の幼鳥の行動範囲の推定について、単年または複数年で整理した結果を報告した。	・近年において隔年で繁殖が成功していることは興味深い。 ・幼鳥等が映像で記録できている点が評価できる。 ・2年目の若鳥のデータを合わせて幼鳥の行動範囲の推定を行う方法は、範囲が広くなりすぎるため使えないことがわかった。	・事務局：幼鳥の行動範囲の推定方法は、今後も繁殖した年の確認記録を基に「ダム事業におけるイヌワシ・クマタカの調査方法〔改訂版〕」に即した手法及び最外郭法の両手法を用いて単年の範囲設定、複数年の範囲設定を示して検証していく。
3.平成26年度のモニタリング結果の評価について	・平成26年度のモニタリング結果の評価を報告した。	・埋蔵文化財発掘調査およびUAV飛行時調査でクマタカが異常な反応を示すことがなかったことを報告した。	・UAVなどの最新技術は猛禽類の調査に取り入れてよい。	・事務局：UAVなどの最新技術については情報収集を行い、必要に応じて適宜活用していきたい。
4.平成27年繁殖シーズンの調査計画(案)について	・平成27年繁殖シーズンの調査計画(案)を説明した。	・平成26年繁殖シーズンと同様のクマタカ調査計画(案)およびその他の猛禽類調査計画(案)などの報告を行った。	・ハチクマの調査は繁殖時期を考慮して6月にも実施してほしい。	・事務局：ハチクマの繁殖に対し6月に追加調査を行う。
5.クマタカへの環境保全措置の対応方針について	事業実施時のクマタカへの環境保全措置の対応方針(案)を説明した。	今後予定されているA地区およびB地区の工事で、騒音調査を実施することを説明した。	・今後計画される工事においては、工事実施時期への配慮が必要である。 ・低騒音型の重機の使用を考えてほしい。	・環境保全措置の検討は工事実施時期への配慮も検討していくことを考えている。 ・全ての工事で低騒音型の重機の使用を考えている。